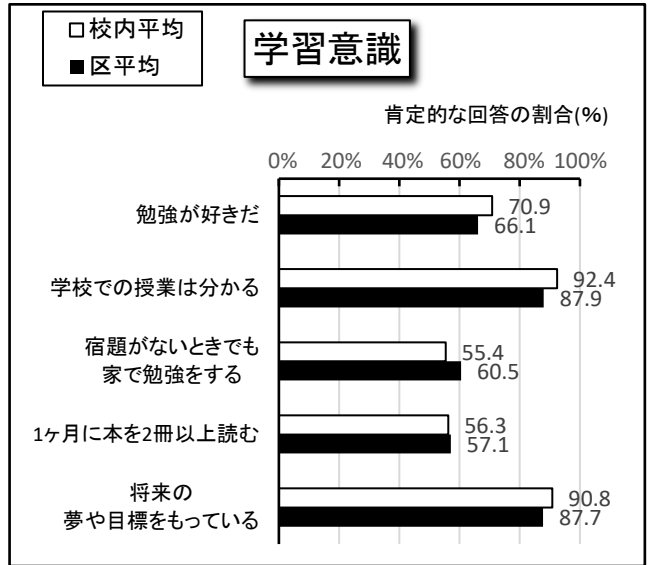
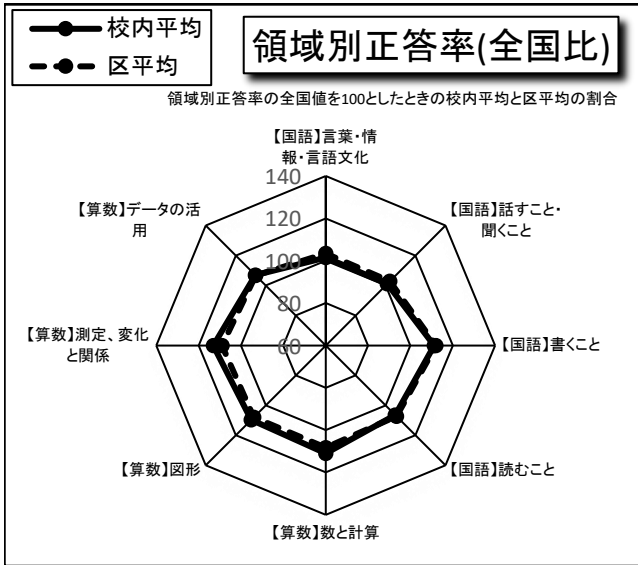


中川東小学校



| | 学校全体 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|
| | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 |
| 目標値(R5) | | | 74.4 | 74.8 | 72.7 | 71.3 | 58.1 | 60.4 | 56.0 | 60.1 | 60.9 | 50.5 |
| 通過率(R5) | 83.3 | 89.3 | 82.6 | 95.7 | 87.2 | 91.5 | 93.2 | 100.0 | 76.1 | 76.1 | 78.4 | 84.3 |
| 目標値(R4) | | | 69.2 | 77.2 | - | - | 56.8 | 62.1 | 53.8 | 60.1 | 56.9 | 48.3 |
| 通過率(R4) | 80.4 | 89.5 | 84.8 | 97.8 | - | - | 82.6 | 91.3 | 87.0 | 89.1 | 65.8 | 78.9 |
| 平均正答率(R5) | 77.8 | 78.7 | 88.1 | 91.0 | 86.4 | 85.8 | 82.4 | 83.5 | 66.7 | 65.9 | 70.5 | 71.5 |
| 平均正答率(R4) | 70.7 | 76.7 | 84.4 | 96.0 | - | - | 67.9 | 79.4 | 69.6 | 76.9 | 61.1 | 57.0 |

◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]

◎平均正答率:本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値)

「学習定着度調査」分析結果

【意識調査】「勉強が好きだ」と回答する児童が前年度同様7割を超えた。しかしながら、「宿題がないときでも勉強をする」という項目については昨年度より7ポイント減少し、さらには区平均を下回っている。読書も同様の傾向が見られた。自主学習に力を注いできた本校としては、課題の設定方法の指導や学ぶ意欲の向上を目指し検討を行う必要がある。

【国語】学校全体での目標値の通過率が83.3%となり、昨年度超えた8割の壁を今年度も越えることができた。加えて3ポイント増である。確実に力が付いてきたと確信している。昨年度は「書くこと」の領域において、区平均を10ポイント程度下回っていたが、今年度はほぼ同ポイントである。AIドリルと並行して「書く」ということを大切にしてきた成果である。

【算数】学校全体での目標値の通過率が89.3%となり、昨年度どほぼ同ポイントである。全児童の9割近くに基礎的な学習内容が定着しているという結果は大きな成果である。これは習熟度別によって分けられた少人数指導が実を結んでいる。サマースクール、花丸教室による個に応じた指導の機会も十分に確保できている。この結果に満足せず検討を重ねていく。

学校による学力向上への主な取り組み

【基礎学力定着に向けた学力向上施策】

- ①パワーアップタイム(国・算・読) 週3日 朝 8:20~8:35 15分間
- ②花丸教室(放課後補習教室) 週2日 放課後 15:15~15:45 30分間
→ 区学力調査や単元テストのポートフォリオを活用 未習熟の児童を抽出して実施
- ③がんばろう家庭学習週間(家庭との連携) 毎月1回 宿題+自主学習の推進
- ④読書月間 年3回(6月・10月・2月)
- ⑤ICT機器を活用したオンライン学習
→ AIドリル・デジタルMIM・キーボー島などの学習ツールを活用
- ⑥サマースクール(夏季補習教室) 土日を除く10日間 各学年60分
→ 区学力調査で目標値に達しなかった児童を対象に実施 全教員体制で実施
- ⑦「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加推奨(3~6年生)